



2016年10月13日

報道関係各位

ユニー株式会社

ユニーが16件目の認定取得！ 食品リサイクル法「再生利用事業計画認定取得」について

ユニー株式会社(本社:愛知県稲沢市、代表取締役社長:佐古 則男)は、「食品リサイクル法」に基づき、食品循環資源の再生利用事業促進に取り組んでまいりましたが、この度、9月20日(火)に農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣より、1件の「再生利用事業計画」を認定されましたのでお知らせいたします。

当社は、2007年1月に食品関連企業者では初の「再生利用事業計画」を認定されてから、これまでに合計15件の認定を受けており、店舗展開する全ての府県下^{※1}で食品リサイクル・ループの構築をしてまいりました。今回の認定により16件目となり、岐阜県^{※2}でのリサイクル・ループで飼料化に取り組み、鶏卵をユニーの店舗で販売します。



※1 1府19県(東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の影響を受ける福島県を除く)

※2 岐阜県下の一部店舗は、2011年11月10日に名古屋市のリサイクル施設に搬入するリサイクル・ループを構築しております。

今後も、再生利用事業者や農業者の皆様と更にパートナーシップを図り、食品リサイクル・ループを継続的に発展させ、循環型社会の形成に努力してまいります。

《概要》

■今回の認定府県：岐阜県

■再生利用事業計画(食品リサイクル・ループ)の概要

ユニー(株)の岐阜県下6店舗で排出した食品残さを、特定肥飼料等製造業者((株)橋本 関エコフィードセンター)が再生資源として引き取り、飼料を製造します。特定肥飼料等利用者((有)鈴木養鶏場)がこの飼料を使って養鶏し、生産した卵を当社が仕入れて店舗で販売する計画です。

①食品関連事業者:ユニー株式会社

<食品残さ排出店舗>

アピタ美濃加茂店(岐阜県美濃加茂市)、ピアゴ関店(岐阜県関市)、
ピアゴ可児店(岐阜県可児市)、ピアゴ多治見店(岐阜県多治見市)、
ピアゴ瑞浪店(岐阜県瑞浪市)、ピアゴ川辺店(岐阜県加茂郡)

⇒食品残さ排出量 182.5t/年

<鶏卵の販売店舗>

2015年度:中京地区アピタ52店舗で期間限定試験販売 135,000個/年

※再生利用事業計画での利用量 190,000個/年

②特定肥飼料等製造業者(再生利用事業者):株式会社橋本 関エコフィードセンター

⇒ユニー(株)が排出した食品残さ由来の飼料(エコフィード 45.6t/年)

③特定肥飼料等の利用者(農産物生産者):有限会社鈴木養鶏場

⇒上記肥料を使用した鶏卵の生産量 38,000,000個/年

以上

